

第5回日本プラグフェスト開催報告

－ 技術本部ハードウェア委員会 －

第5回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。日本プラグフェストは、インターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。

今回は特別講演として、HDMIと親和性のあるMHLからMHL LLC PresidentのRob Tobias氏が、最新規格であるMHL3.0の概要説明とMHLを用いたエコシステムの紹介に参加メーカー及びJPCA Show2014の来場者に講演していただきました。また今回参加いただきました各社には、参加証を発行させていただきました。

会期・場所

会期 平成26年6月5日(木)～6日(金)

場所 『JPCAショー2014』会場内特設会場(東京BigSite)

主催 一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI/MHL)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカーは、ソース機器1、シンク機器2、リピータ機器3に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。

また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

参加メーカー・機種

・参加メーカー 23社 77名

・参加機種

シンク機器 14機種(TV、プロジェクタ等)

ソース機器 10機種

(BDレコーダ、ゲーム機、デジタルカメラ等)

リピータ機器 10機種(AVアンプ、AVレシーバ等)

測定器 3機種

(オシロスコープ、ネットワークアナライザ等)

試験方法

▼ 個別試験

・各チームと1対1の試験

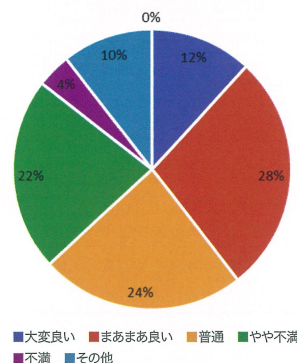
・1スロット45分

▼ システム試験

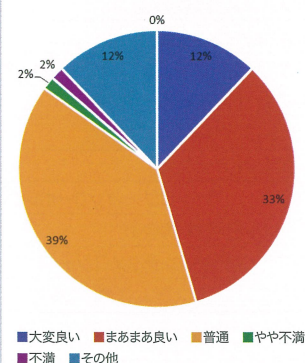
・シンク、ソース、リピータを複数介した試験

・1スロット90分

会場の設備環境についてはいかがでしたか？



システム試験のテスト項目はいかがでしたか？



参加者からのご意見・ご要望

- ・今回は対戦しませんでした。普段あまりコンタクトのないメーカー様のご質問にお答え、対応ができました。
- ・いつも有難うございます。運営も大変だと思いますが、継続して開催をお願い致します。

お寄せいただいた、試験方法、場所、試験時間等に関するご要望につきましては、今後可能な限り対応します。

今後の予定

今回は今年の11月頃の開催を予定しています。具体的な日程／会場等が決まり次第、日本プラグフェストHP(<http://www.jasa.or.jp/plugfest/>)にてお知らせいたします。

謝辞

今回は、一般社団法人日本電子回路工業会(Japan Electronics Packaging and Circuits Association)JPCA様のご協力により、6月4日(水)～6日(金)、東京ビッグサイトで開催されました『JPCAショー2014』内の特設会場で開催することができました。この誌面にて、厚く御礼を申し上げます。

